

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先 市民活動支援センター
 尾張旭市庄中町塚坪2099-1
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



ワークショップ
 での討
 論が各々
 1つで行な
 れて、
 発表する
 とこう。



▲講師の先生より
 地震防災に関する
 講義を後ける。

災害時に市内外から
 参集する多数のボラン
 テアと被災者からの支
 援要請の調整を図る
 のかボランティアコーディネ
 ーターの役割です。
 平成二十四年二月十日
 二前十時午後十六時

平成二十三年度 渋川福祉センター 社会福祉法人尾張旭市社会福祉協議会主催 災害救援ボランティアネットワーク養成講座



▲難しいと言っていて
 は何も出来ない
 支援してもらったこと
 に関しても受け入れ
 割がしかりとした役
 割分担をしないと
 被害に及ぶている人
 の救助は出来ない。
 机上では駄目です。
 身体を動かして身
 体が憶えることが大
 切です。



▲炬燵の毎に火を明けて、ティッシュを入れて火をつかると
 2時間は持つ。実験です。



▲薄いビニールに野菜などを入れて煮る。
 水と電池コンロがあれば何でも出来る。

